Richell

# 〈取扱説明書〉

# 階段の上でも使える 木のバリアフリーゲート

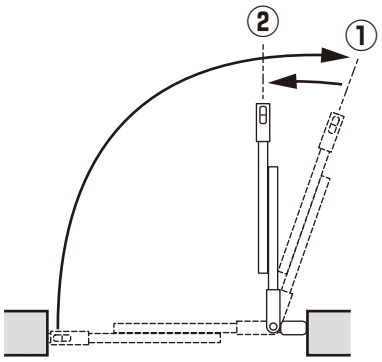
このたびは、リッチェル製品をお求めいただきありがとうございます。ご使用の前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。また、本書はいつでも見られる場所に、大切に保管してください。本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどをわかりやすくするため、現物とは多少異なることがあります。

## 1.製品用途

本品は、家屋の柱や壁に加工を施し、幅74cm～114cmまでの廊下や階段の昇降口などに取付け可能な幼児用室内ゲートです。

## 2.対象月齢

本品は、新生児から24カ月頃の幼児に使用してください。

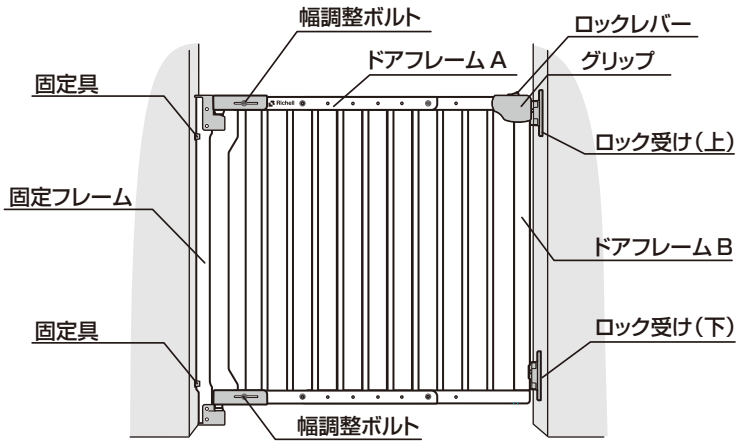


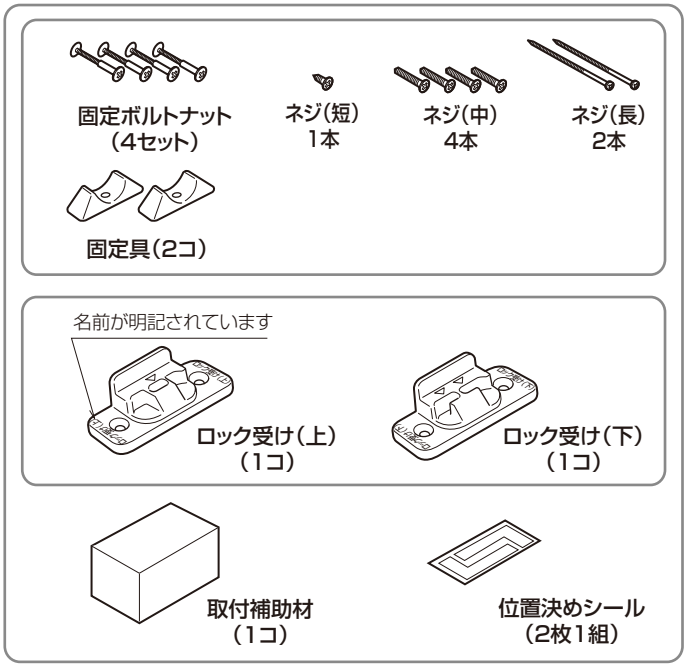

## 3.製品特長

- ●本品は、壁や柱にしっかりネジで取り付けし、階段側には扉が開かない構造のため、階段の上側でもお使いいただけます。
- ●ドアを開けたとき、足下に段差がないので、つまずく心配がありません。
- ●約45°以上開けたドアは自動で閉まりロックが掛かるので、ロックを掛け忘れる心配がありません。
- ●ドアを一度、開ききり（約100°、右図①参照）、約90°まで戻し（右図②参照）、そっと手を離すと開放状態で保持できます。

## 4.部品構成・部品数

お使いになる前に部品がすべて揃っているか確認してください。

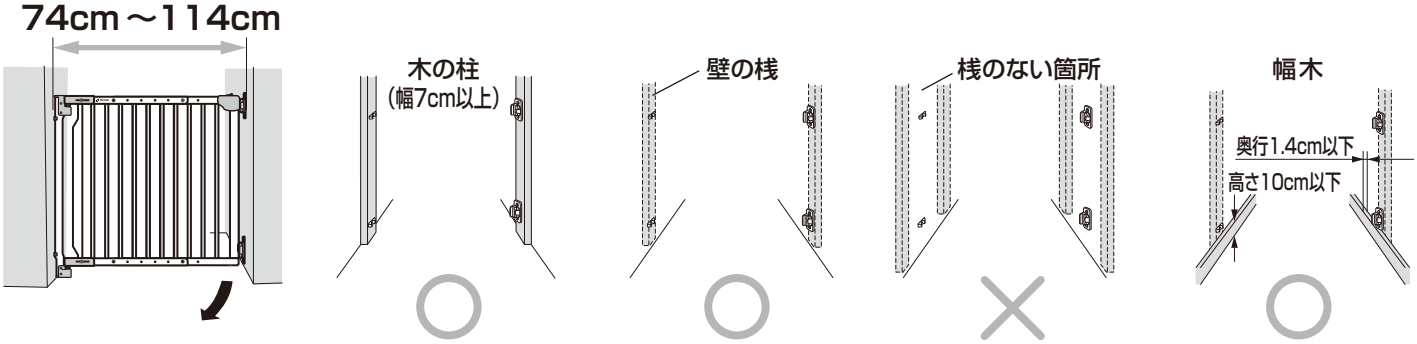



付属部品

## 5.取り付けられるところ

- ●間口74cm～114cmのところで、床に凹凸がない、水平な場所に設置できます。（ドアの開閉範囲に段差やスロープがないところ。）
- ●ネジで固定するタイプなので、取り付ける面は木の柱や、壁面の桟のある箇所に取り付けてください。（取付け面の幅が7cm以上の垂直で頑丈な安定した平面）
- ●取付け箇所がベニヤや石膏ボードで桟がない箇所には取り付けないでください。壁面が破損するおそれがあります。




※図面や市販の桟探知機など桟の位置が分かるもの、または工務店などに相談し、桟の位置を確認してください。



裏面も必ずお読みください。

## 6.使用上の注意

○記号の説明

この取扱説明書は、製品を安全に使用していただくために特に守っていただきたいことについて次のマークで表示しています。
各マークの意味を十分理解されたうえで使用していただきますようお願いいたします。

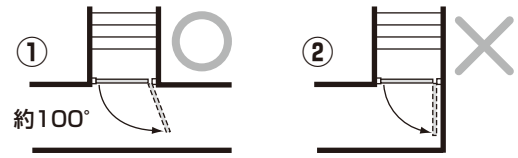
⚠警告 … 取扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負ったり、物的損害につながるおそれのあるもの。
⚠注意 … 取扱いを誤った場合、軽度の傷害を負ったり、物的損害につながるおそれのあるもの。
重要 … 取扱いを誤った場合、製品の故障・損傷・早期寿命などを招くおそれのあるもの。

### ⚠警告

- **本品を設置していても幼児を置き去りにしないでください。**幼児が予期しない行動をとり、ケガや事故の原因となるおそれがあります。
- 階段側にドアの開閉ができないように取り付けてください。思わぬ事故の原因となります。
- ドアの開閉時以外は必ずドアをロックしておいてください。思わぬ事故の原因となります。(10.取付確認・ドアの開閉方法 参照)
- 本品の設置場所は**取付け面の幅が7cm以上の垂直な壁面で、頑丈な平坦で安定した床面に設置**してください。(9.取付け手順 参照)
- 本品の**取付可能幅は74cm～114cm**です。範囲外の幅に取り付けると外れ、事故や故障の原因となります。(8.ドアフレームの組立て 参照)
- 本品を勝手に**改造や修繕したり、部品の代用はしない**でください。事故や故障の原因となります。
- 暖房機の熱風吹き出し口の前や火のそばなどに設置しないでください。ヤケドや製品の破損の原因となります。
- 本品に寄りかかったり、ドアにぶら下がらないでください。事故や故障の原因となります。
- 本品や設置場所などに異常があるときは、直ちに使用を中止してください。
- 固定ボルトと固定ナット、幅調整ボルトはドライバー2本を使い、固定してください。
  固定が緩いとロックが外れて重大な事故の原因となります。

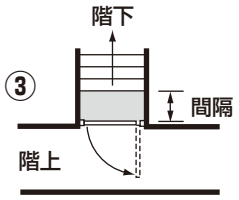
### ⚠注意

- 本品の組立てや取扱いの際にはケガなどしないように注意してください。
- ドアを閉めたときは、必ずロックが掛かっていること(ドア上下2カ所)を確認してください。
  幼児がゲートの外に出たりケガをするおそれがあります。
- 本品はオートクローズ機能があり、45°以上開いて手を離すと自動的にドアが閉まります。
  開き角度が小さい場合は、ロックが掛からないおそれがあります。
- 本品は開放状態で保持できる機能があります(右図①参照)。ただし、約100°に開ききることが
  できない場合(右図②参照)や、約90°まで戻さずに手を離した場合は、開放状態で保持できません。
- ドアの開閉時には、**指や手をはさまないように、また幼児が後からついてこないかなど**周りの安全を確認してから開閉してください。
- **設置場所の壁面が弱い場合、壁面が破損するおそれがありますので、裏側に柱や桟のある壁面に設置してください。**事故や破損の原因となります。
- 落としたり、ぶつけるなどの乱暴な扱いはしないでください。事故や破損の原因となります。
- 本品は新生児から24カ月頃の幼児用室内ゲートです。用途以外に使用しないでください。
- 本品がしっかり固定されているか常に確認して、必要に応じて幅調整ボルトや固定ボルトナットを増し締めしてください。
- 階上に取り付ける場合は、無理なく開閉できるよう、階段の降り口から本品まで間隔をあけ(右図③参照)、
  取り付けてください。思わぬ事故の原因となります。



開ききることができる
➡開放状態で保持できる

開ききることができない
➡開放状態で保持できない

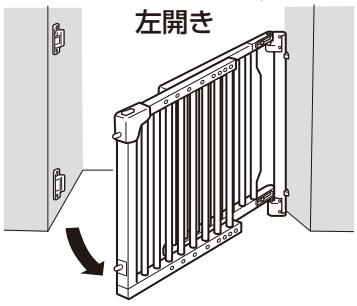


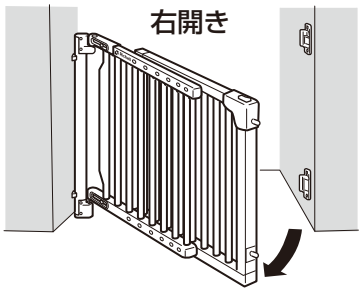

### 重要

- **ドアを開ききった状態から無理な力をかけないでください。**木部の破損や割れの危険性があります。

## 7.取付け前に

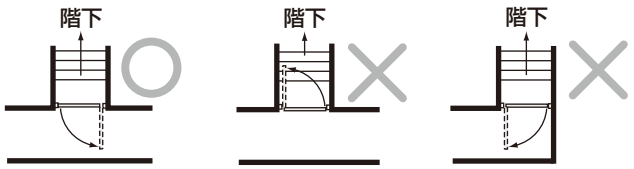
**階段付近の間取りや使い勝手に応じて、ドアの向きを「左開き」にするか「右開き」にするか決めてください。**(下図の取付け例を参考にしてください。)




**<準備するもの>**

・⊕ドライバー2本　・間口幅が計れるもの(メジャーなど)
・桟の位置がわかるもの(図面や市販の桟探知機など)
※桟の位置がわかるものが無い場合は工務店などにご相談ください。



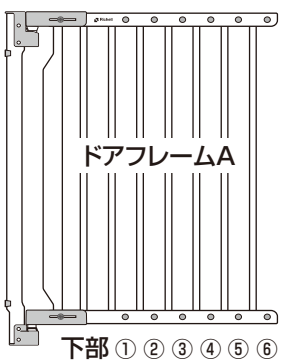
階上に取り付ける場合

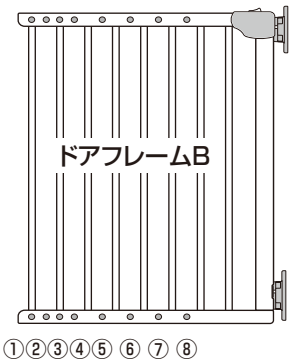
## 8.ドアフレームの組立て

・⊕ドライバー2本、間口幅が計れるもの(メジャーなど)を用意してください。

1. 取付け場所の幅(間口幅)を計ります。
2. ドアフレームA・Bを下図のように、幅に応じて 固定ボルトナットで4カ所を締まらなくなるまで固定します。(下図の番号は固定ボルトナットの固定位置を示しています。)

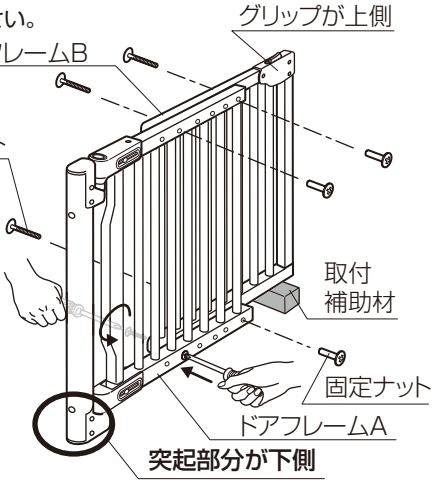
上部 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥　①②③④⑤ ⑥ ⑦ ⑧




下部 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥　①②③④⑤ ⑥ ⑦ ⑧

| 間口幅(cm) | ドアフレームA 上下部とも | ドアフレームB 上下部とも |
|---|---|---|
| 74~80 | ① ⑤ | ④ ⑧ |
| 80~86 | ① ⑥ | ② ⑧ |
| 86~92 | ② ⑥ | ② ⑦ |
| 92~99 | ③ ⑥ | ② ⑥ |
| 99~105 | ④ ⑥ | ② ⑤ |
| 105~111 | ⑤ ⑥ | ② ④ |
| 111~114 | ⑤ ⑥ | ① ③ |




※立てた状態で固定する際は、
取付補助材を使用してください。

## 9.取付け手順

・2人で取付けを行ってください。
・⊕ドライバーを2本用意してください。

**⚠警告**

●本品の設置場所は**床面が水平で、取付け面の幅が7cm以上の垂直で頑丈な安定した平面に設置**してください。
●**固定具やロック受けの取付け位置・向き**には十分注意してください。誤った取付けはドアが外れ事故の原因となります。

**⚠注意**

●本品を**上から見て壁面と直角、床面に直角になるように**取り付けてください。正しく取り付けされていない場合、オートロック機能が働かないおそれがあります。
●必ず仮置きして、使い勝手などに問題がないことを確認してから、ネジ止めしてください。

## 1 ゲート本体を固定します。

①ドアフレームAの幅調整ボルト上部・下部両方をゆるめ、片方で固定フレームを押さえながら、もう片方でドアフレームAを矢印方向にずらします。

② 8.ドアフレームの組立て で固定したドアフレームA・Bを90°開いた状態にします。
固定フレームに固定具をセットして、ネジ(長)で上下2カ所、壁面に固定します。
(取付補助材をドアフレームBと床面の間に置くと取付作業が楽になります。)
この時、本品が床面に対し直角になるようにしてください。(図1参照)

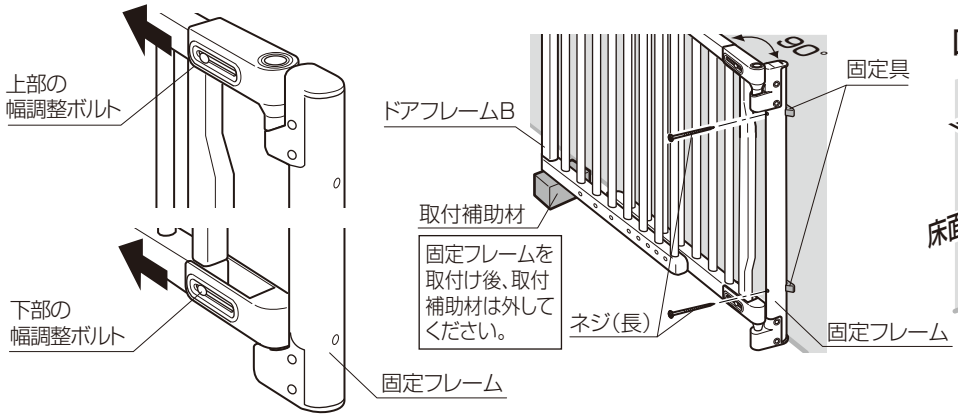
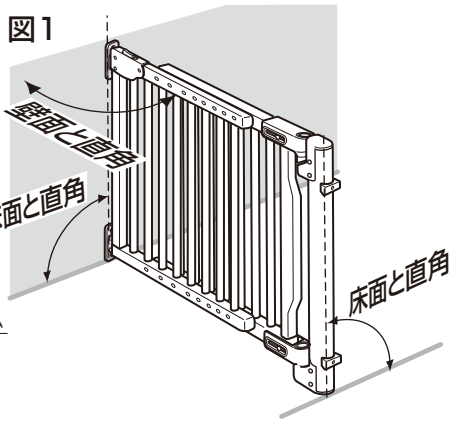
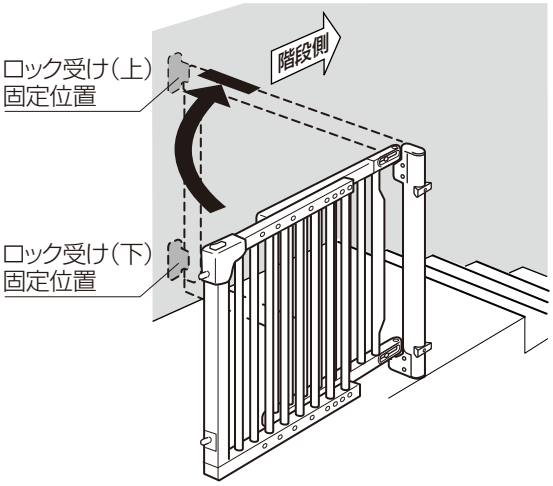


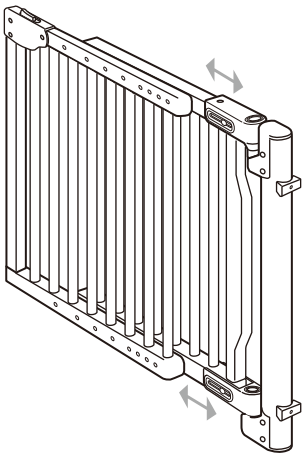

図1



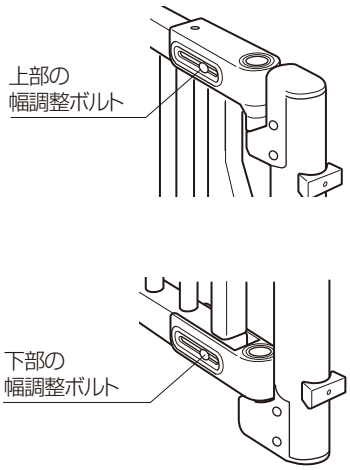

## 2 ロック受けの固定位置を仮決めします。



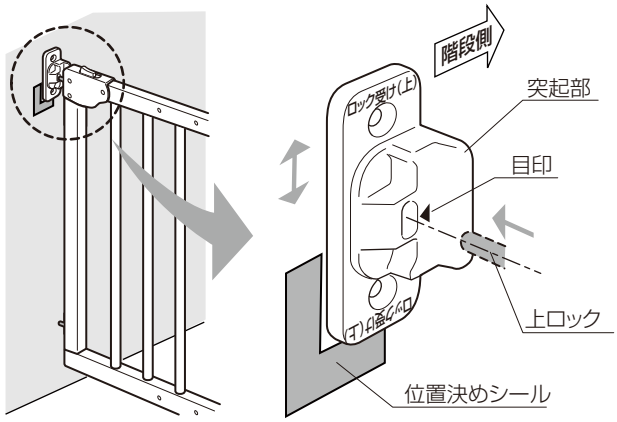

①ドアフレームAをスライドさせます。
(幅調整ボルトは上下同じ位置にします。)



②ドアフレームAの幅調整ボルトを仮締めします。

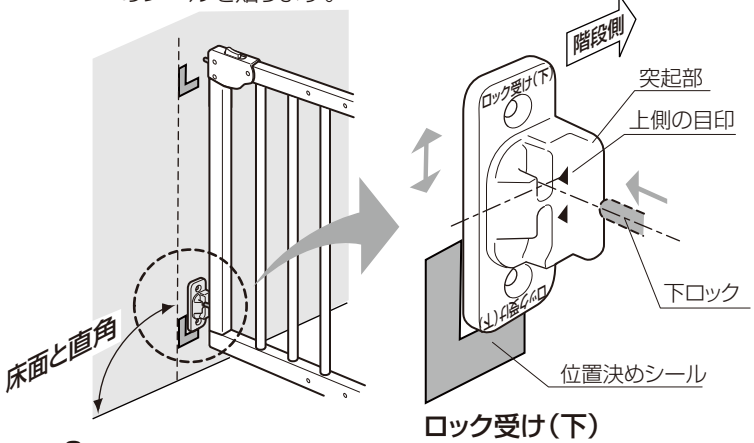



③ **突起部が階段側になるように**ロック受け(上)を壁面に当て、目印(▲印)の位置と上ロックが合うようにロック受け(上)の位置を決め、位置決めシールを貼ります。




**ロック受け(上)**

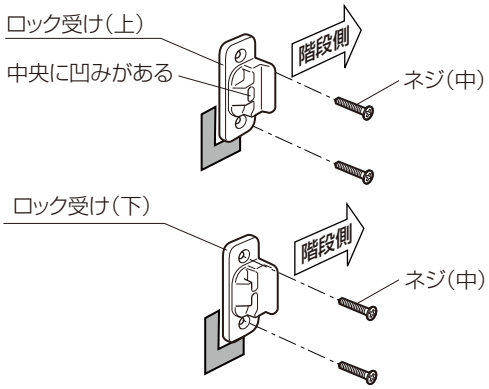
④ ③と同様に**突起部が階段側になるように**ロック受け(下)を壁面に当て、2つの目印(▲印)のうち上側の目印の位置と下ロックが合うようにロック受け(下)の位置を決め、位置決めシールを貼ります。




**ロック受け(下)**

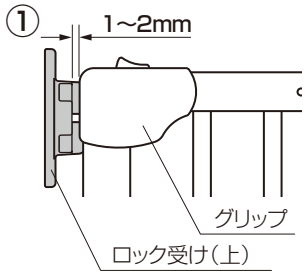
## 3 ロック受けを固定します。

位置決めシールに合わせ、ロック受け(上)･(下)を再度確認し、ネジ(中)で固定します。
(固定する前に階段側にドアが開かないことを確認してください。)

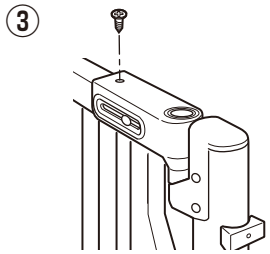


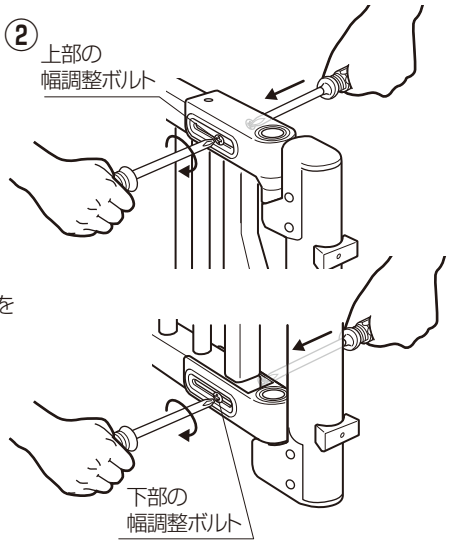

## 4 ドア幅を調整し固定します。

ドアのオートロック作動や開閉を確認しながら、
①ドア幅を調整し、
②上部および下部の幅調整ボルトを**締まらなくなるまで**締め、固定します。
③さらに、ネジ(短)で軸部上側を固定します。



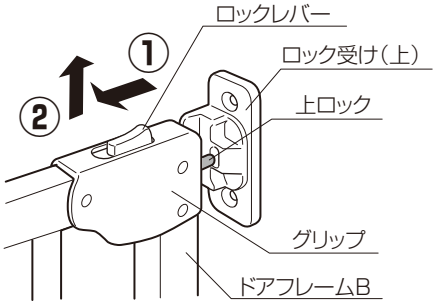

ロック受け(上)とグリップのすき間を
1~2mmになるように調整します。




## 10.取付確認･ドアの開閉方法

❶ 設置後、ドアの上部を持って前後にゆすって、外れたり、ぐらつきがないか確認してください。
❷ グリップを握って、ロックレバーを
①スライド(上ロックが解除されます)してから、
②そのまま少し持ち上げる(下ロックが解除されます)と、ドアが開きます。
❸ ドアが閉まった後、上ロック、下ロックともにロックが掛かることを確認してください。

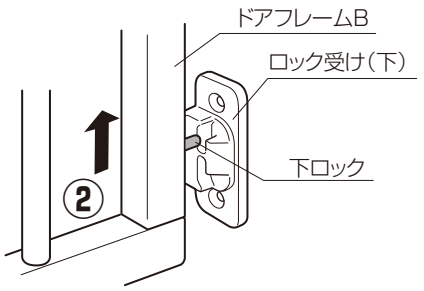



## 11.取外し方

●取外しは、取付けの逆の手順で行ってください。
●壁や柱に残ったネジ穴は市販の補修材などで補修してください。

**⚠注意**

**●取外し時には、本品の転倒に注意してください。**




## 12.お手入れ方法

●水で薄めた中性洗剤をつけたタオルを固くしぼってふき取ってください。
ふき取った後は、風通しのよい場所で陰干しにしてください。変色や変形、カビの原因となります。
●タワシやみがき粉などは使用しないでください。変色やキズの原因となります。
●シンナーやベンジン、アルコールなどの薬品は使用しないでください。変色や塗装のハクリの原因となります。

## 13.仕　　様

| | |
|---|---|
| 品　名 | 階段の上でも使える木のバリアフリーゲート |
| サイズ | 幅 74~114 × 奥行 7.5 × 高さ 82.5 (cm) |
| 重　量 | 4.1 kg |
| 材　質 | 天然木、積層材、スチール、ポリプロピレンなど |

○製品の外観および仕様は、品質向上のため予告なく一部変更する場合があります。
○木部は天然木です。色や木目は異なる場合がありますのでご了承ください。

この商品の品質で、お気づきの点がございましたらお手数ですが下記までご連絡ください。

株式会社 リッチェル
富山市水橋桜木136 〒939-0592　お客様相談室/TEL(076)478-2957
受付時間:9:00~17:00(土･日･祝日･弊社休日を除く)
www.richell.co.jp

Designed by Richell Corp., Japan
MADE IN VIETNAM
2510